

「もいも」の時に備えて

ある年のお盆…

お母さん
ただいま～

お帰り

最近、
体の具合はどう？

あまり調子が
よくなってね…

母には
慢性疾患がある

最期は自宅で
過ごしたいわね

お母さん、あんなこと言ってたけど
大丈夫かな…

えっ…
最期…???

しばらくして、母は入院した

お義母さん、
また弱ってきてしまったね

うん…

急性増悪を繰り返しています。
病院での治療を希望されますか？
それとも在宅療養を希望されますか？

最期は自宅で
過ごしたいわね

そういえばお母さん
言ってたな…

命の危険が迫った状態になると、
約70%の方が医療やケアなどを
自分で決めたり、
望みを人に伝えたりすることが
できなくなると言われています。

「望み」を話しておきませんか???

「人生会議」をしましょう!

アドバンス ケア プランニング

「人生会議」とは、ACP(Advance Care Planning)の愛称で、人生の最終段階において、自分が受けたいと思う医療やケア(介護)について前もって考え、信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する取組です。



“もしも”の時に備えて、話し合っておきましょう。
具体的には、下記のようなことです。



胃ろう(経管栄養)にする?



延命措置は?



人工呼吸器をつけたい?



最期は自宅で?

—— 最期まで自分らしく ——

ぜひ、かかりつけ医などの、身近にいる医療・介護の専門職に相談してください。

問い合わせ

小山市役所 高齢生きがい課

TEL:0285-22-9853